

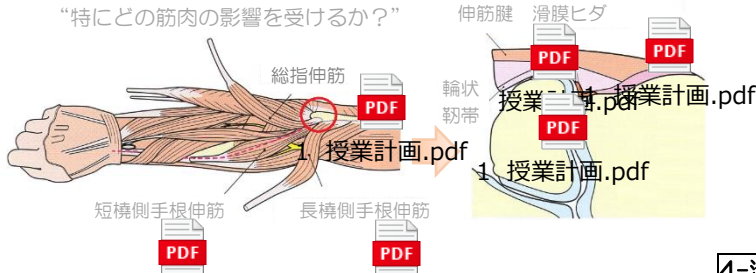
### 3. テニス肘

#### a. 上腕骨外側上顆炎 (バックハンドテニス肘)

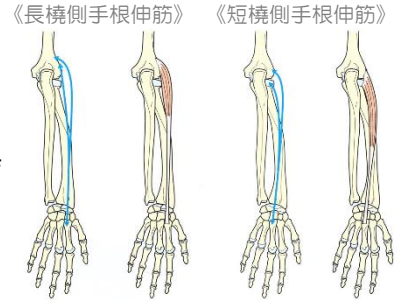
- 損傷を受けやすい筋を理解する
- 徒手検査法を理解する

##### 1-概要

- 上腕骨外側上顆に起始する前腕伸筋群の付着部炎
- テニスのバックハンド動作や、日常生活動作の反復により発症

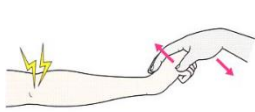


##### 2-筋の走行の違い

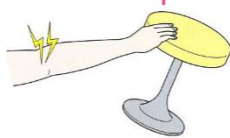


##### 3-検査法

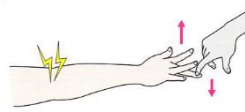
【トムゼンテスト】  
Thomsen test



1 授業計画.pdf  
【椅子テスト】  
chair test

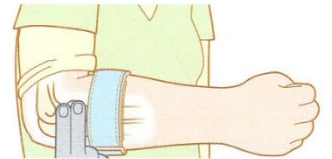


1 授業計画.pdf  
【中指伸展テスト】  
middle finger extension test



##### 4-治療法

- テニス肘バンドの装着位置はどこか？

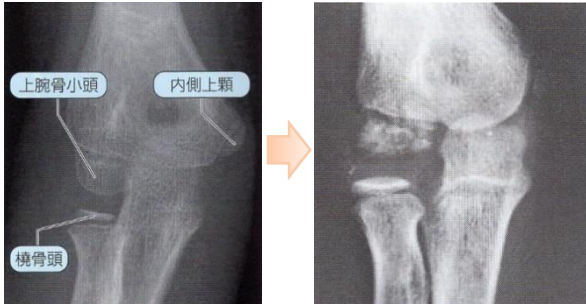


### 4. その他の疾患

#### a. パンナー病 (Panner 病)

##### 1-概要

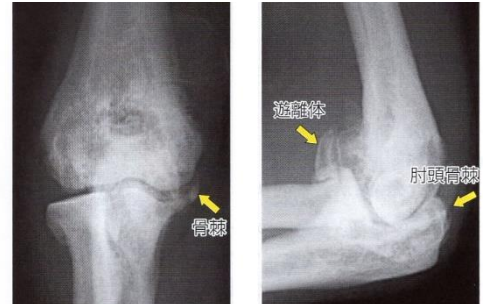
- 上腕骨小頭の骨端症、伸展が特に制限されるが予後良好
- 運動歴のない5~10歳男子の利き腕に好発 (⇒鑑別疾患は?)



#### b. 変形性肘関節症

##### 1-概要

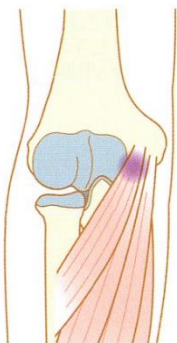
- 肘関節軟骨の退行性変性、肘部管症候群の原因の1つ
- 大工、チェーンソー作業、重量挙げ選手、手の酷使に起因



### ※. 参考資料

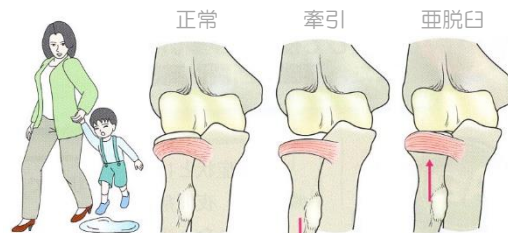
#### ※参考1-ゴルフ肘

- 内側上顆炎
- ⇒ フォアハンドテニス肘
- ⇒ 屈筋群の付着部炎



#### ※参考2-肘内障

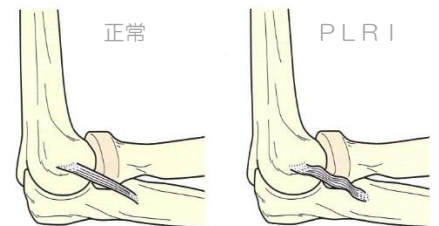
- 小児の肘 (腕頭関節) 亜脱臼、
- ⇒ 橈骨頭部骨折との鑑別を要する。



	回内	回外
伸展	—	○
屈曲	○	◎

#### ※参考3-滑膜ヒダ障害

- 難治性の肘疾患の場合、橈骨頭変位による、滑膜ヒダの挟み込みが考えられる。



橈骨頭の変位			
伸展	離開	回内	外方変位
屈曲	密着	回外	後方変位

ご清聴ありがとうございました。

## 練習問題

問題1 上腕骨外側上顆炎で誤りはどれか。

1. 短橈側手根伸筋の起始部の炎症である
2. テニスのバックハンド動作による発生が代表例である
3. 上腕骨外側上顆部に限局性圧痛や運動痛を認める
4. テニス肘バンドで上腕骨外側上顆部を圧迫すると疼痛が軽減する

問題2 上腕骨外側上顆炎の検査法で誤りはどれか。

1. トムゼンテスト
2. チェアーテスト
3. スピードテスト
4. 中指伸展テスト

問題3 トムゼンテストで誤りはどれか。

1. 手指は拳を作った状態にする
2. 検者は被検者の手関節に掌屈方向に抵抗運動を加える
3. 上腕骨外側上顆に疼痛が生じたものを陽性とする
4. 被検者は肘関節伸展位、前腕回外位、手関節背屈位とする

問題4 パンナー病で誤りはどれか。

1. 5～10歳の男児に多い
2. 利き腕に発症しやすい
3. 上腕骨外側上顆の骨端症である
4. 予後は良好である

問題5 パンナー病で正しいのはどれか。

1. 小学生低学年の男児に好発する
2. 上腕骨内顆の骨端症である
3. 保存療法では治癒は見込めない
4. 予後は不良である

問題1-4 テニス肘バンドは外側上顆から2～3横指位置に装着する  
 問題2-3 上腕二頭筋長頭腱炎の検査法である  
 問題3-4 前腕回内位である。肘関節伸筋群が伸長される位で検査する  
 問題4-3 上腕骨内顆の骨端症である  
 問題5-1 小学生低学年の男児に好発する  
 問題5-2 利き腕に発症しやすい  
 問題5-3 上腕骨外側上顆の骨端症である  
 問題5-4 予後は良好である  
 問題5-5 予後は不良である